

永く生きる 建築

～宮繕だより～



福島県立安積中学校(1頁参照)

第5号
2025.5

「福島県立安積中学校」について（表紙の建物）



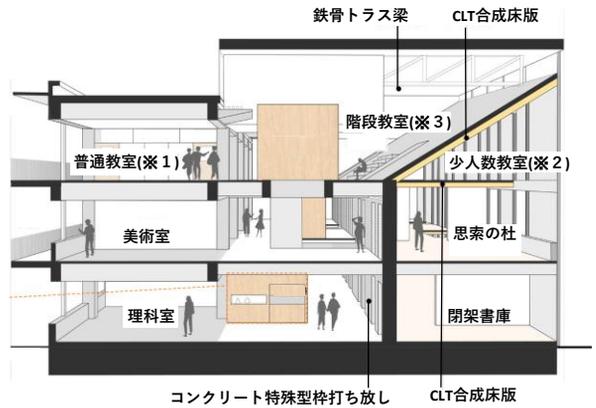
外観



内観

用途	中学校
構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造+木造
階数	地上3階建て
延べ面積	4,546.80 m ²
供用開始	R7.4

中高一貫校として、安積高等学校の敷地内に、6年間を見通した教育活動に必要な中学校校舎を整備しました。



大講義室

鉄筋コンクリートの柱や梁、天井のCLT合成床版を「あらわし」とすることで、建物の構造を見せる空間としました。



普通教室(※1)と交流ラウンジ

各普通教室に面して交流ラウンジを設けました。可動間仕切りを開くことで教室と一体的な利用が可能となります。

3階北側には、階段教室と少人数教室等を設けました。

階段教室の斜めの床は、隣接する博物館の屋根に呼応した勾配としています。この斜めの床下に少人数教室等があります。



少人数教室(※2)



少人数教室



階段教室(※3)

POINT CLT合成床版

CLT合成床版とは、CLT（直交集成材）を型枠兼化粧材として、コンクリートスラブと組み合わせた床版のことです。施工合理化を図るとともに意匠性に優れる木質空間を実現します。

令和7年度 営繕課の取組

営繕課の今年度の取組の一部を紹介します。今後、概要についてお伝えしていく予定です。

ふくしま木造化・木質化建築ガイドライン及び資料集成

- ・ 県有建築物の木造化・木質化をより推進するため、昨年5月に策定・公表した「ふくしま木造化・木質化建築ガイドライン」を分かりやすく見える化した「(仮称)ふくしま木造化・木質化建築資料集成」の作成に取り組んでいます。
- ・ 完成した際には、ガイドライン及び資料集成を広く周知するための講習会を予定しています。

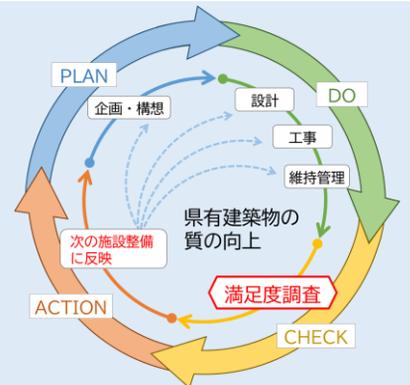
【資料集成の構成(予定)】

- 第1部 ガイドラインが示す木造化・木質化の見える化
- 第2部 県内外の中大規模木造建築物の事例
 - 第1節 木造化・木質化の先進事例
 - 第2節 先進事例で見られた木造化・木質化の工夫
- 第3部 県内の木材生産・流通の状況



県有建築物の整備に係る満足度調査

- ・ 県有建築物の質の向上を図るため、供用開始から1年を経過した大規模な施設を対象に、勤務する職員等に対して施設の満足度を調査し、当該施設における「優れた点」や「改善すべき点」を、次の県有施設整備に反映する仕組みを検討しています。
- ・ 本調査は、アンケートにより、建物や外構などの使いやすさや快適性などについての満足度を5段階で評価してもらい、アンケート結果を補完するための現地調査や施設管理者との意見交換なども取り入れ、評価結果の要因を分析した上で、次の設計や工事に反映しようとするものです。

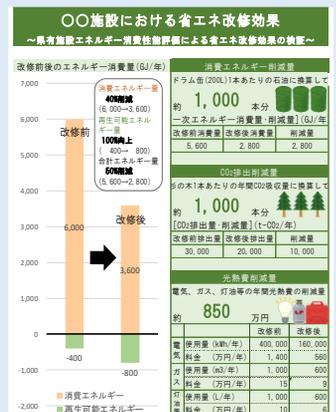


県有建築物のエネルギー消費性能評価

- ・ 建築分野におけるカーボンニュートラルの実現に向け、「福島県再エネ・省エネ推進建築物整備指針」や「福島県ZEBガイドライン」により、県有建築物の省エネ対策やZEB化に取り組んでいます。
- ・ 上記指針等による取組のフォローアップとして、供用開始から1年を経過した県有施設について、エネルギー消費量の設計時の想定と実績とを比較することで建築物のエネルギー消費性能やCO2排出削減量を評価し、施設管理者や庁内関係部局に情報提供しています。

ゼブ

※ZEB：年間のエネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物 Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称



「福島県郡山合同庁舎整備工事」について

既存庁舎の老朽化・狭あい化等の諸課題への対応や、防災拠点としてふさわしい庁舎とすることなどを目的に、新庁舎の整備工事を進めています。

完成イメージ（外観）



完成イメージ（内観）



基礎

躯体

内外装

設備

外構

完成



屋根を支える鉄骨の柱が立ち、3階床部分まで鉄骨工事が進みました。（R7.4月）



ポンプ車を使用し3階にコンクリートを打設しています。（R7.4月）

編集後記

桜・入学式・GWなど楽しみにしていた春の行事はアツという間に過ぎ去りました。新たに開校した県立安積中学校の生徒が高校生と共に校門をくぐる光景もなじんできた頃ではないでしょうか。場所ごとに性格の異なる様々な空間のある校舎を、生徒たちが、どのように利用しているのか、施設整備をした側の想いは伝わっているのか等々・・・気になります。次の施設整備につながる仕組みの一つとして「満足度調査」を検討していきます。

発行については土木部メールマガジンでもお知らせします。メールマガジンの配信を希望される方は、【土木部メルマガ希望】と書いて送信してください。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

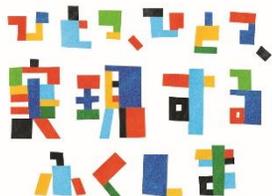
【永く生きる建築～営繕だより】のバックナンバーは、営繕課のHPに掲載しています。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41065c/nagakuikirukentiku.html>

【ふくしま建築探訪】 <https://fukushima-kenchikutanbou.jp/>

【建築・設備技術職を目指す皆さんへ】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41065a/prwg.html>



問い合わせ先

福島県土木部営繕課 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16（本庁舎4階）
電話 024-521-7530（直通） FAX 024-521-7717

